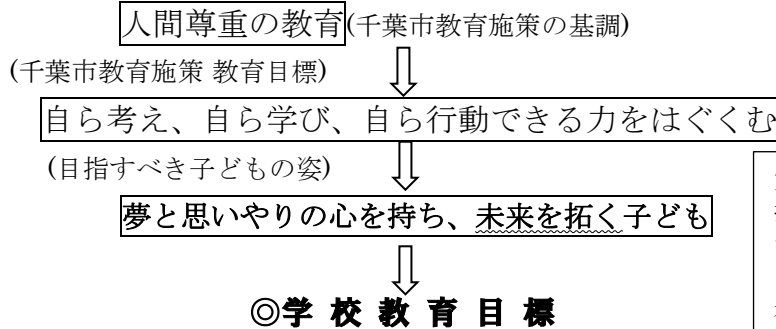


令和8年度 学校経営方針

I 学校経営について

(1) 学校教育目標

人間尊重の教育とは、子供たち一人一人を尊重し、調和のとれた発達が図れるよう、子供たちのよさや可能性を大切にすることを進めること



第三次千葉市学校教育推進計画の改定により
 チャレンジする子ども
 ↓
 未来を拓く子ども

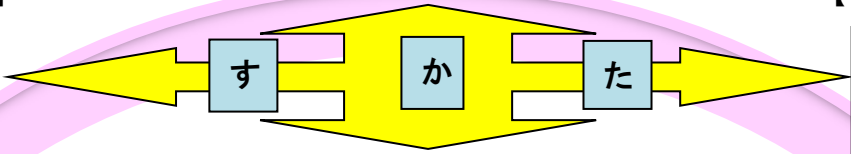
「やさしい子 考える子 たくましい子」の育成
 ★子供が いつも まん中★

【めざす教師像】

【めざす学校像】

・地域、保護者、子供、同僚から信頼される教師
 子供の気持ちに寄り添い、支える教師
 子どもたちのよさや可能性を引き出し、育てる教師
 自ら学び続ける教師

・子供が行きたくなる、保護者が通わせたい学校
 安心、安全で温かみがあり、笑顔あふれる学校
 保護者、地域と協力する学校
 全職員が同じ方向で子供を支援する学校



【目指す児童像】

◎「た」すけあい
 ○人にやさしく、思いやりをもった子ども
 低学年 気持ちを言葉で伝えあう子
 中学年 相手の気持ちを受け止める子
 高学年 互いの立場に立って行動する子

◎「か」いへく
 ○進んで学び、自己決定ができる子ども
 低学年 相手の話をよく聞く子
 中学年 粘り強く取り組む子
 高学年 友達と協働し、考えを深める子

◎「す」すんで挑戦
 ○常に挑戦する、たくましい子ども
 低学年 いろいろなことにチャレンジする子
 中学年 続けてがんばる子
 高学年 苦手なことにも挑戦する子

先生 みんなが みんなの 先生

子供の未来を拓く教師

誰にも居場所のある学校

2 学校経営方針

(1) 基本理念 **★子供が いつも まん中★**

子供が行きたくなるような、保護者が通わせたいような学校

- ・笑顔の絶えない明るい学校、安心安全な学校
- ・保護者ならびに地域との連携を図り、地域に根ざした開かれた学校づくり

(2) 経営の基本方針

子供と教職員共通のキーワード

「先生 みんなが みんなの 先生」

- ①人間尊重の精神を全ての教育活動の基調とする。
- ②全職員が学校経営に参画する自覚に立ち、教育愛・情熱・意欲をもち、相互の信頼を基調として、本校の教育目標の具現化に努めるとともに、適正サービスの励行に努める。
- ③保護者・地域の要請や児童の実態を踏まえ、本校の教育課題を明確にし、適正かつ特色のある教育課程を編成・実施・評価することによって「生きる力」の育成に努める。
- ④積極的な生徒指導と特別支援教育を推進し、児童のよさと可能性を認め伸ばす。
- ⑤研修を通じ質の高い学習指導を目指し、よき教師としての資質・力量の向上に努める。

3 経営の重点

(1) **基礎学力向上のための研究・研修の充実** 学び続ける教職員～教師と子供の学びは相似形～

①学年会の充実（毎週金曜日放課後）

- ・翌週の教材研究（指導と評価の一体化）
- ・テストやドリル等の進捗状況確認
- ・ICTの活用場面の共通理解 等

②光の子タイムの活用徹底

- ・毎週月、金曜日は【読書タイム】
- ・火曜日：低学年、水曜日：中学年、木曜日：高学年…専科教員等による補助【ドリルタイム】

③家庭学習の推進

- ・音読、ドリルパーク、漢字練習等 **※継続は力なり**

④研究・研修の充実

- ・算数科における個別最適な学びと協動的な学びの一体的な充実
- ・夏の専門研修や他県、他校の実践、プラントのオンデマンド研修等 自己啓発に励む

(2) **居場所のある学級、学年経営の充実** ～「先生 みんなが みんなの 先生」～

①交換授業等の充実 ※別紙

- ・朝の会や給食時間の担任交代 ・特別の教科道徳における単元内交換授業
- ・社会科と理科等の交換授業

②学年集会、学年活動の充実（同じ方向で指導する）

- ・前後期スタートや終わり、行事前や終了後 等（自己肯定感や自己有用感を高める）
- ・特別な支援を必要とする児童の対応（保健室や専科教員等とも連携）

③人権教育の充実

- ・光の子集会 ・外部講師による職員研修

(3) **協働しあい、児童も教師も笑顔の絶えない職場環境**

- ・悩みを相談できる、安心して働ける学校
- ・「できるときに できる人が できることをする」というお互い様の精神

⇒心も体も健康な環境で 「子供の未来を拓く」学校を！